

平成 28 年度

第 2 回松戸市地域自立支援協議会 資料

平成 29 年 2 月 8 日（水）14:00～16:00

松戸市役所 新館 7 階 大会議室

平成28年度 松戸市地域自立支援協議会 地域生活支援部会

【活動目的】

- ① 障害者が住み慣れた地域で、自分らしく住み続けるための支援体制の確立
- ② 障害者が可能な限り、本人の望む地域で、他の人々と共生し、生活できるための支援体制の確立

【活動内容】

- ① 地域で家族や、パートナー、一人での暮らしを支えるサービスとして、居宅介護等の社会資源の整理
- ② 社会資源に関する現状と課題の整理
- ③ 障害や福祉に興味をもってもらうための居住研修・ヘルパー基礎研修の継続
- ④ 地域拠点事業整備に向けた協議
- ⑤ 平成30年度、障害者総合支援法の見直しに向けた準備。
- ⑥ 障害者ヘルパー事業所連絡会
- ⑦ 地域生活支援部会員の他事業所視察

【平成28年度活動実績】

日程	会場	内容
第1回 4/14	市役所新館9階会議室	(1) 部会長、副部会長選出。役割決め。 (2) 今年度の活動内容について話し合い (3) 研修について担当ごとに話し合い
第2回 5/12	市役所新館8階会議室	(1) 今年度の活動計画について再度話し合い (2) 管理者会議に向けたアンケート構成について話し合い (3) 研修について担当ごとに話し合い
第3回 6/9	〃	(1) 地域生活支援拠点について市プロジェクトチームより説明会およびニーズの聞き取り (2) 事業所見学について話し合い (3) アンケートの配布開始 (4) 研修について担当ごとに話し合い
第4回 7/14	〃	(1) 自立支援協議会本会議資料の確認 (2) アンケート結果について（報告） (3) 研修について担当ごとに話し合い
第5回 8/18	〃	(1) 自立支援協議会本会議の報告 (2) ヘルパー事業所モニタリング報告 (3) 研修について担当ごとに話し合い
第6回 9/8	別館地下1階研修室	(1) 地域生活支援拠点整備事業研修会（13：30～15：30） (2) 市内事業所見学について話し合い (3) 研修について担当ごとに話し合い

第7回 10/13	市内事業所 恩田第2病院	(1) 各事業所視察会（10：00～15：00） (2) 事業所見学報告 (3) 研修について担当ごとに話し合い
第8回 11/10	市役所新館9階会議室	(1) 居住研修最終確認 (2) 障害者ヘルパー事業所連絡会最終確認 (3) 研修について担当ごとに話し合い
11/12	松戸市弁護士会館	第9回障害者の居住研修会
11/22	基幹センターCoCo	第1回障害者ヘルパー事業所連絡会
第9回 12/8	市役所新館9階会議室	(1) 地域生活支援拠点について市PJチームより説明会 (2) 居住研修・管理者会議の報告 (3) 障害者支援ヘルパー掘りおこし研修について話し合い
第10回 1/12	基幹センターCoCo	(1) 障害者支援ヘルパー掘りおこし研修最終確認 (2) 自立支援協議会本会議資料の確認
1/24	松戸市民会館	障害者支援ヘルパー掘りおこし研修

【成果】毎月1回の定例会を開催

① 「障害者ヘルパー事業所連絡会」について

昨年度より、地域生活支援部会では「ヘルパースキルアップ研修」や「障害者支援ヘルパー研修」を開催し、福祉人材の確保や支援者スキルの向上に取り組んできましたが、継続的にヘルパー事業所の抱える問題を解決していくには、地域生活支援部会が担当するのではなく、当事者である現場のヘルパーや管理者が話し合い実施していくべきではないかという意見が出ました。そこで、問題を解決し情報共有をするための場所づくりとして「障害者ヘルパー事業所連絡会」の設置について協議を進めています。その取りかかりとして、6月に各事業所の現状や課題を把握するため、松戸市内の各事業所へアンケートを配布しました。8月には、アンケートの結果を基に、各事業所へ直接出向き、ニーズ調査を行いました。11月22日（火）に第1回障害者ヘルパー事業所連絡会を開催し、17の事業所が参加をしました。アンケート結果から、「様々な意見を聞いてよかった」「勉強になった」などの感想が多くあがりました。来年度も連絡会を企画しながら事業所主体の会の継続について協議していく予定です。

② 「他事業所への視察」について

例年、他県へ先進的な取り組みを行う地域支援の事業所へ視察を行っています。しかし、今年度においては、部会員の相互の職場を視察することによって、各部会員の支援対象以外の障害についての理解を深めようという意見が出されました。また、地域生活支援拠点が面的に整備されることも踏まえ、市内の事業所がどのような支援を得意とするのかなども把握したいと考え、市内の見学会を企画し、松里福祉会、ジョイまつどの障害福祉サービス事業所や恩田第二病院の病棟やデイケア設備、基幹相談センターCoCoのケア会議を部会員が視察しました。

③ 地域生活支援拠点整備事業について

地域生活支援部会では、6月に拠点支援事業についての勉強会を行い、松戸市地域生活支援

拠点プロジェクト担当へ、ニーズや意見を提出しました。また平成28年9月8日(木)には、『社会福祉法人みんなでいきる』の副理事長片桐公彦氏をお招きし、相談支援部会と合同で、地域生活支援拠点整備事業について理解を深めるための研修を行いました。

④ 研修会について

第9回障害者の居住研修会「やさシティまつどをみんなの手で」

目的：「障害」や「福祉」について「ゼロ」だった知識を「イチ」にし、当部会の目的である「障害者が可能な限り本人の望む地域で他の人々を共生し生活できる」地域をつくっていくこと

日時：平成28年11月12日(土) 10:00~16:30

場所：千葉県弁護士会館松戸市部会館5階

内容：司法と福祉の無料相談会

千葉県弁護士会・基幹相談支援センター・ほっとねっと
地域生活の支援制度に関する紹介

広域指導専門員 井上スエ子氏

中核地域生活支援センターほっとねっと 桑田良子氏

障害のある方の暮らし

身体・知的・精神各障害から1名

インタビュアー：まつど育成会 平塚敬一

対象：市民全般

第1回障害者ヘルパー事業所連絡会

目的：事業所同士で連携して、研修や交流会、現状や課題等を持ち寄り、共に検討し解決していくための連絡会をつくるため。

日時：平成28年11月22日(火) 10:00~12:00

場所：松戸市基幹相談支援センターCoCo

内容：自己紹介及び事業所紹介、意見交換

対象：市内訪問系事業所管理職

第2回障害者支援ヘルパー研修（掘りおこし研修）

目的：障害者支援ヘルパー不足の解消

日時：平成29年1月24日(火) 10:00~12:00

場所：松戸市民会館301会議室

内容：「障害者ヘルパーの魅力」事業所スタッフより、ヘルパーの仕事の内容、楽しさなどの話 (株)ベールヘルツ サービス提供責任者 濱辺 卓 氏

「利用者からのメッセージ」身体障害者1名

対象：ヘルパーの資格は持っているが職についていない人、ヘルパー・介護の仕事に興味のある人、主婦、学生など

【課題】

地域生活支援部会では、昨年来の課題として、①ヘルパー事業所のネットワークづくり、②福祉の狭間となった人の問題、③支援者の人材不足とスキル不足の問題、④他の部会への提案を掲げてきました。

- ① ヘルパー事業所のネットワークづくりでは、今年度ヘルパー事業所連絡会を開催し、好評を得ることができました。これが部会の助けなく、事業所同士のネットワークで進めていけるよう支援していきたいと思います。
- ② 福祉の狭間となった人の問題では、「居住研修会」という名称で行った研修の中で、司法と福祉の相談会という弁護士や福祉の専門家による無料相談を行ったほか、障害を持つ方への関心をゼロからイチにするための取り組みを行ってきました。これは、今後は名称をもっとわかりやすいものに変えていきたい、子供部会に呼びかけて、幼い時からの共生やリテラシーの問題等に取り組みたいなどの意見が出ています。より、発展させて続けていきたいと思います。
- ③ 支援者の人材不足とスキル不足の問題については、①のヘルパー事業所のネットワークだけではなく、福祉サービスの事業所のネットワークも必要な問題だとは思いますが、今後は、ヘルパー事業所の連絡会と共に研修を行っていきたいと考えています。

その他に、1月の部会の際に、防災という視点から障害者の暮らしについて考え、危機管理課と連携していければという意見が出ました。今後の課題の一つとしたいと考えています。

平成28年度 松戸市地域自立支援協議会 相談支援部会

【活動目的】

1. 計画相談の作成率及び質の向上
2. 障害ある当事者やその家族が生活に必要なとする支援について検討する

【活動内容】

1. 計画相談率の向上
 - ・3月と9月の受給者証の更新について1ヶ月前倒しが認められ、各事業所へ案内文を送付。
 - ・待機リストの必要について検討
 - ・研修の企画
2. 地域生活支援拠点整備事業について
松戸市の資源を可視化
3. 相談機関等のリスト作成
リストの具体的内容の検討（構成、対象者、範囲等）

【平成28年度活動実績】

(1) 会議開催

会場：ふれあい22

日 程	内 容
第1回 4月7日（木）	①28年度活動計画 ②期間相談支援センターCOCO 事業評価結果 ③松戸市委託相談支援体制
第2回 5月12日（木）	(1)地域生活支援拠点（現場のニーズ調査） (2)計画作成率向上対策 (3)相談支援専門員スキルアップ研修
第3回 6月2日（木）	①地域生活支援拠点（現場のニーズ再検討） ②計画作成率向上対策（アンケート作り）
第4回 7月7日（木）	① 地域生活支援拠点（課内進捗状況報告） ② 計画作成率向上対策（アンケート作り） ③相談機関のリスト作成（内容検討）
第5回 8月18日（木）	①自室支援協議会本会議の報告 ②相談機関のリスト作成（内容検討） ③地域生活支援拠点（研修講師への質問整理）
第6回 9月1日（木）	①相談機関リスト作成（内容・周知方法検討） ②地域生活支援拠点（参加者へのアンケート検討） ③相談支援専門員スキルアップ研修（内容検討）
第7回 10月6日（木）	①計画作成率向上対策（他市の計画相談空き状況制度研究） ②地域生活支援拠点（参加者アンケート結果・感想） ③松戸保健所より現状報告

第8回 11月10日(木)	①計画作成率向上対策(計画相談空き状況制度検討) (事業所へのアンケート結果) ②地域生活支援拠点(モデル事業の研究) ③次年度の研修(内容検討)
第9回 12月1日(木)	①計画作成率向上対策(事業所アンケートで出た意見の整理) (計画相談空き状況制度の検討) ②次年度の研修(内容検討)
第10回 1月5日(木)	①地域生活支援拠点(準備委員会の参加者決定) (松戸市の資源の可視化) ②スキルアップ研修報告

(2) 研修

- 地域生活支援拠点整備事業研修会

(地域生活支援部会と合同研修)

日時：平成28年9月8日(木) 13:30~15:00

場所：松戸市役所 別館地下1階研修室

対象：障害福祉関係の従事者、医療関係者、障害福祉課職員

- 放課後等デイサービスとは

(こども部会と合同研修)

日時：平成28年11月15日(火) 10:00~12:00

場所：ふれあい22 ホール

対象：放課後等デイサービス事業者

- 相談支援専門員初任者スキルアップ研修

(基幹相談支援センターCoCo、ふれあい相談室委託事業)

日時：①平成28年12月14日(水) 14:00~17:00

②平成29年 1月30日(月) 14:00~17:00

③平成29年 3月 1日(水) 14:00~17:30

④平成29年 2月15日(水) 14:00~17:00

(※④のみ初任者・中堅職員 全体研修)

場所：ふれあい22 研修室

(※④のみふれあい22 ホール)

対象：松戸市で相談支援専門員の資格を持ち(事業所)で、実務経験3年未満の者(実務経験3年以上の方も希望により参加可)

【成果】

- (1) 3月、9月にプランニング月が集中している現状を緩和させるためのアンケートを実施しました。その結果に基づき、3月と9月のプランニングは1ヶ月の前倒しが認められ、市内の計画相談の事業所に案内文を送り周知しました。

- (2) 地域生活支援拠点の研修により、先行事例を学ぶことで本市における整備事業の参考となりました。また、検討にあたって、市内の資源を可視化し整理しました。
- (3) 放課後等デイサービスの研修により、児童と関わる関係者に計画相談をつけることの有用性を認識してもらえました。児童の計画作成率向上に繋がると考えられます。
- (4) 相談支援専門員の研修により、必要と思われる知識、技術を習得するだけでなく、同じ仕事に従事する方々との意見交換を通じて計画相談の仕事の実際に活かせる人間関係、連携等の獲得に繋がりました。

【課題】

- (1) 委託相談支援事業所ができたことにより相談機関リストの重要性が再確認されたため、リストの作成が課題といえます。
- (2) 高齢者の分野にいる方々に対し、障害分野にも興味を持ってもらい、計画相談の受け手を広げるための連携が必要といえます。

平成28年度 松戸市地域自立支援協議会 就労支援部会

【活動目的】

松戸市における障害者の工賃向上、障害者の雇用の確保を実現するための、課題解決に向け専門的に検討し、障害者等への支援体制の整備を図る。

【活動内容】

1. 障害者就労施設等における工賃向上について検討する。
2. 障害者雇用の拡大を目的とし、企業に対して障害者の啓蒙・PR、職場定着支援について検討を行い、具体的な方法を考案し、実施する。

【平成28年度活動実績】

(1) 会議の開催日程

日程	会場	内容
第1回 4/13	松戸市役所	① 松戸市の障害福祉概況等の情報共有 ② 平成28年度部会活動内容検討
第2回 5/10	松戸市役所	(4) 平成28年度年間計画作成 (5) 障害者雇用率、法定雇用率向上策の具体案検討
第3回 6/7	松戸市役所	① 障害者雇用セミナーの内容について検討 ② 障害者雇用率、法定雇用率向上策の具体案検討
6/20	柏市役所	第1回企業向け障害者雇用セミナー準備会
第4回 7/13	松戸市役所	① 工賃状況調査結果報告及び工賃向上策の具体案検討 ② 障害者雇用セミナー内容について検討 ③ 障害者雇用率、法定雇用率向上策の具体案検討
7/22	柏市役所	第2回企業向け障害者雇用セミナー準備会
第5回 8/24	松戸市役所	① 障害者雇用セミナー内容について検討 ② 障害者雇用率、法定雇用率向上策の具体案検討
9/29	柏市役所	第3回企業向け障害者雇用セミナー準備会
第6回 10/11	松戸市役所	① 障害者雇用セミナー内容について検討 ② 障害者雇用率、法定雇用率向上策の具体案検討
10/20	柏市役所	第4回企業向け障害者雇用セミナー準備会
第7回 11/9	松戸市役所	① 障害者雇用セミナー内容について検討 ② 障害者雇用率、法定雇用率向上策の具体案検討
11/24	柏市役所	第5回企業向け障害者雇用セミナー準備会
第8回 12/14	松戸市内	特別支援学校及び市内障害者施設等の見学
第9回 1/11	松戸市役所	① 障害者雇用セミナー内容について確認 ② 障害者雇用率、法定雇用率向上策の具体案検討
1/26	柏市役所	第6回企業向け障害者雇用セミナー準備会

(2) 平成 28 年度「障害者就労施設等における利用者の工賃状況等調査」の実施

(3) 就業支援者向けスキルアップセミナーの開催

日 時：平成 28 年 7 月 9 日（土）午前 10 時から午後 4 時（参加者 20 名）

平成 28 年 7 月 30 日（土）午前 10 時から午後 4 時 45 分（参加者 19 名）

場 所：松戸市女性センターゆうまつど ホール

対象者：障害者就労施設等及び特別支援学校の職員、医療関係の就労支援担当

(4) 企業向け障害者雇用セミナーの開催

① 柏市、流山市、我孫子市、松戸市の 4 市、松戸公共職業安定所と合同で開催予定

② 企業向け障害者雇用セミナー準備会を発足し、月 1 回会議を開催。

日 時：平成 29 年 2 月 9 日（木）午前 10 時から午後 4 時 30 分

場 所：アミュゼ柏 プラザ

対象者：松戸公共職業安定所管内 50 名以上雇用している企業

（柏市、流山市、我孫子市、松戸市）

(5) 就労移行支援事業所利用者「企業セミナー」の開催（障害者雇用について）

日 時 平成 29 年 3 月 10 日（金）午後 1 時から午後 5 時 予定

場 所 和名ヶ谷スポーツセンター 体育館

対象者 就労移行支援事業所利用者（80 名）

(6) 広報啓発について

① 「ぷれジョブまつど」の活動内容を知ってもらうことにより、障害児者に対する理解促進を深めるため、「まつどやさしい暮らしラボ」への記事掲載に向け取組中。

② 「東松戸病院内売店 憩いの場くれよん」で販売している市内障害者施設の商品等について「インターネットプレスリリース」への配信に向け取組中。

【成果】

(1) 平成 28 年度「障害者就労施設等における利用者の工賃状況等調査」の実施

調査においては、工賃向上を図る上での課題として、自主生産品を売る機会・場所が少ないことが昨年同様あげられていました。

(2) 障害者の「働く」を支えるスキルアップセミナーの開催

就業支援者の支援における視点と技術に関するスキルアップを行い、一人でも多くの障害者雇用を促進するとともに、定着を図ることを目的に開催しました。

障害者雇用の概論、就労支援のアセスメント等の基礎知識、課題分析と支援の

ポイント等についてロールプレイを通して学ぶことで、利用者の気持ちに気づきま

した。また、ブロック等のツールを使った作業を体験することで伝えることの難しさを実感することができた研修となりました。

【課題】

平成 28 年度における民間企業の障害者雇用率は、全国では 1.92%、千葉県では

1.86%、松戸市は 1.62%となっております。平成 27 年度の松戸市の雇用率は、1.41%

であり、0.21 ポイント上昇しているところですが、全国や県との比較では低くなっています。

松戸市における障害者雇用率、法定雇用率達成企業の割合を上げ、障害者の雇用の確保を実現するために、企業に啓蒙・PR、職場定着支援のための施策を実施することにより障害者雇用に対する理解促進を深めることが課題となっております。

平成 28年度 松戸市地域自立支援協議会 権利擁護部会

【活動目的】

障害者の虐待防止、養護者に対する支援や権利擁護に関する課題等について、情報提供や関係機関等の連携を図るとともに、課題解決に向けて専門的に検討し、障害者等への支援体制の整備を図る。

【活動内容】

1. 市の障害者虐待の対応・終結過程に関する報告と検証
2. 障害者虐待防止及び権利擁護等を図るための課題整理や検討を行い、具体的な方法を考案し実施する。
3. 障害者虐待防止・権利擁護に関する研修や啓発の企画実施

【平成28年度活動実績】

(1) 会議開催

日 程	内 容
第 1 回 4 月 22 日(金)	① 地域自立支援協議会の位置づけ及び権利擁護部会の目的・内容の確認 ② 権利擁護部会の運営・役割分担及び年間予定の確認 ③ 虐待防止マニュアルの内容検証 ④ 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証
第 2 回 5 月 27 日(金)	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ② 虐待防止マニュアルの内容検証 ③ 研修企画の予定確認
第 3 回 6 月 24 日(金)	① 「成年後見制度利用促進法」について講義 講師：みざわ法律事務所 神保弁護士 ② 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ③ 虐待防止マニュアルの内容検証 ④ 従事者向け虐待防止研修会についての検討・準備 ⑤ 第 1 回障害者差別解消地域協議会の報告
第 4 回 7 月 29 日(金)	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ② 虐待防止マニュアルの策定について協議 ③ 従事者向け虐待防止研修会についての検討・準備
第 5 回 8 月 26 日(金)	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ② 従事者向け虐待防止研修会の内容確認 ③ 平成 28 年度第 1 回自立支援協議会の報告
第 6 回 9 月 30 日(金)	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ② 従事者向け虐待防止研修会の報告 ③ 管理者向け虐待防止研修会についての検討・準備
第 7 回 10 月 28 日(金)	① 害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ② 従事者向け虐待防止研修会の報告 ③ 管理者向け虐待防止研修会についての検討・準備

第8回 11月25日(金)	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ② 管理者向け研修会の報告
第9回 12月16日(金)	① 管理者向け研修会の報告 ② 市民向け権利擁護講演会についての検討・準備 ③ 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証
第10回 1月27日(金)	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ② 市民向け権利擁護講演会の報告

(2) 障害者虐待の対応・終結過程に関する報告と検証

		養護者虐待	施設従事者虐待	使用者虐待	計
H26年度	通報・届出件数	12	3	1	16
	虐待認定件数	2	1	0	3
H27年度	通報・届出件数	17	5	0	22
	虐待認定件数	7	1	0	8
H28年度 ※H28.12.31時点	通報・届出件数	21	2	0	23
	虐待認定件数	5	1	0	6

(3) 啓発活動

①障害者虐待防止 従事者向け研修

日時・会場	出席者	内 容
平成28年 9月16日(金) 9:45~12:30 松戸市民会館	47名	① 講演：障害者虐待の基礎知識と従事者としての役割 ② グループワーク：組織としての取り組み、みんながつながるために 講 師：藤井 公雄氏 (基幹相談支援センターCoCoセンター長)

②障害者虐待防止研修会 管理者向け研修

日時・会場	出席者	内 容
平成28年 11月24日(木) 9:45~12:30 松戸市民会館	28名	① 講演：虐待を起こさない組織づくり～経験した事例から考える～ ② グループワーク：施設での虐待防止に向けた取り組み 講 師：田中 齋氏 (前桐友学園施設長)

③障害者権利擁護講演会 (市民向け)

日時・会場	出席者	内 容
平成29年 1月22日(日) 13:00~15:00 松戸市民劇場	59名	講演：障害者虐待防止法と私たちにできること 講 師：吉川 かおり氏 (元全日本手をつなぐ育成会理事)

【成果】

（１）障害者虐待の対応・終結過程に関する報告と検証

昨年度途中より、委員に弁護士を迎えたことで、より多角的な視点からの検証が可能となっている。また、対応が困難な事例について法律上の見解を伺ったり、ケース会議に参加していただくことで、福祉と司法との連携強化に繋がっている。

平成28年度障害者虐待の対応については、12月末日時点で既に平成26年度・27年度を上回る、21件の障害者虐待の通報・届出を受理している。

件数増加の要因として、虐待防止の周知徹底・啓発活動の成果の他に、松戸市基幹相談支援センターや警察等を介しての通報受理件数が増加していることが挙げられ、地域組織との協力連携・ネットワークの構築が進んだ結果といえる。

（２）予防・啓発活動

障害者虐待防止・権利擁護に関する講演会や研修会を継続的に実施しており、昨年度から引き続き、市民向け講演会と施設職員向け研修会（従事者向け・管理職向け）を開催。

施設職員向け研修会については、グループワークの時間を昨年度より長めに配分したことにより、色々な施設の取り組み・課題を参加者間で共有してもらうことができた。

一方、参加者の施設種別・職種・サービス種類がさまざまだったため、意見交換が難しい場面も見受けられた。また、具体的な虐待事例の提示や、そもそもどういった行為が虐待になってしまうのかを知りたいという参加者からの要望もあった。

（３）松戸市障害者虐待防止マニュアルの策定・周知

虐待事例への対応について、緊急的な対応や他機関との連携体制などを整備することを目的として検討してきた、松戸市障害者虐待防止マニュアルを平成28年8月に策定。

松戸市に適した独自のマニュアルを整備したことで、虐待発生時・通報受理時により迅速かつ適切な対応ができるようになることが期待される。

また、本虐待防止マニュアルは、関係者による虐待の早期発見・支援や、障害者虐待防止センターをはじめとする関係機関との協力・連携にも活用されることを見込んでいる。

周知先として、松戸市障害福祉課職員・市内の相談機関（障害者虐待防止センター・ハートオン相談室）・公的機関（松戸警察署・松戸東警察署）への配布を行った他、ホームページ上での公開・虐待防止研修会参加者への配布等、随時周知活動を行っている。

【課題】

（１）居室の確保

平成28年度12月末日までに養護者虐待として認定した5件のうち、1件を「やむを得ない事由による措置」として対応し、虐待を受けていると疑われる障害者を養護者から保護・分離した。

今回の措置の実施に際しては、前述の虐待防止マニュアルが役に立った反面、改めて保護・分離が必要な事例における居室の確保の重要性が浮き彫りになっており、当面の受け入れ施設は見つかったものの、一昨年前の措置事例では施設間の移動を繰り返した経緯もあり、今後受け入れ先が無くなってしまような状況になった場合、対応に苦慮することが予想される。

平成29年度の課題として、居室の確保について、地域拠点プロジェクトをはじめとする障害福祉の他事業との連携や、児童・高齢者施設等の他業種との連携が可能か、模索していく必要があると考えられる。

(2) 医療との連携

虐待事例の検証や通報時の事実確認に際し、医療の専門知識がある医師等に協力を仰ぐことができれば、今まで以上に多角的な視点からの検証が可能となってくる。また、対応が困難な事例について医療の観点からの見解を伺うことで、福祉と医療との連携強化に繋がるため、協力・連携体制の構築について検討していく必要があると考えられる。

(3) 障害者差別解消支援地域協議会との連携

4月に施行された障害者差別解消法に伴い発足された障害者差別解消支援地域協議会に、権利擁護部会から8名の委員が選出されている。差別の相談事例と虐待事例では、関連する部分が多く想定されるため、相互に協議会の動向を共有し、連携方法を検討していく。

平成 28 年度 松戸市地域自立支援協議会 こども部会

【活動目的】

- ① 障害のあるこどもとその家族の「相談と支援」について、現状と課題の共有
- ② 障害のあるこどもとその家族が安心して生活するために必要な「支援」についての検討

【活動内容】

- ① ライフサポートファイル作成についての検討
 - ア パイロット版の作成とモニタリング
 - イ ライフサポートファイルのニーズ調査
 - ウ ライフサポートファイル運用の検討
- ② 放課後等デイサービス事業所についての内容検討
 - ア 事業所向け研修
 - イ 事業所ガイドブック

【平成28年度活動実績】

(1) 会議の開催日程

日 程	会 場	内 容
第1回 4/28	ふれあい 22	① 委員自己紹介 ② 今年度活動内容討議
第2回 5/26	ふれあい 22	(6)各ワーキングチームに分かれ内容を検討 (7)研修の周知方法、研修対象者について話し合い
第3回 6/23	ふれあい 22	① ライフサポートファイルを導入している市町村の実施状況について情報共有 ② 放課後等デイサービスの研修について内容検討 ③ 事業所ガイドブックのフォーマット（案）、記入例を作成（7月6日、各事業所へメールにて送付済）
第4回 7/28	ふれあい 22	④ ライフサポートファイルの叩き台を作成し配布（叩き台を基にモニターへ実施） ⑤ 事業所ガイドブック前半部分の内容検討 ⑥ 放課後等デイサービス研修のチラシ完成（チラシ兼申込書の配布は8月1日～郵送にて実施）
第5回 8/25	ふれあい 22	① ライフサポートファイル配布対象、配布場所の検討 ② ライフサポートファイル運用の検討 ③ 放課後等デイサービス研修のアンケート作成
第6回 10/27	ふれあい 22	① 我孫子市のライフサポートファイルについて情報共有 ② ライフサポートファイル運用の検討 ③ 放課後等デイサービス研修のアンケート完成 ④ 研修会役割分担、進行、事例検討の進め方を検討 ⑤ 事業所ガイドブック完成（10月1日） （11月15日の研修で配布）

第7回 11/24	ふれあい22	① ライフサポートファイル松戸版を活用した障害児支援連携システムの構築について ② 放課後等デイサービス研修報告
第8回 12/22	ふれあい22	① ライフサポートファイル配布対象者検討 ② ライフサポートファイルの運用にあたって予測される各機関の課題
第9回 1/26	ふれあい22	① ライフサポートファイル運用方法、課題の検討とその対応 ② ライフサポートファイル松戸版モニターへのアンケート結果報告

(2) 「放課後等デイサービスとは」研修会の開催（相談支援部会と合同）

日 時：平成28年11月15日（火）午前10時から午後12時15分（参加者82名）

場 所：ふれあい22 3階ホール

対象者：放課後等デイサービス、児童発達支援事業所、相談支援事業所の職員

【成果】

(1) ライフサポートファイル作成についての検討

松戸市のパイロット版を作成し、H28.8月よりモニターへの実施を行いました。

運用については、「ライフサポートファイル松戸版を活用した障害児支援連携システム(案)」

(※別紙参考資料参照)を作成し、ライフサポートファイルの運用にあたって予測される課題とその解決方法について検討しています。

(2) 放課後等デイサービス事業所の内容検討

放課後等デイサービス事業所の質の向上とネットワーク作りを目的とし、講師を招いて相談支援部会と協働で放課後等デイサービスの研修を開催する事が出来ました。松戸市の放課後等デイサービス事業所ガイドブックが完成し、障害福祉課窓口で配布をしています。

【課題】

各機関や保護者にライフサポートファイルを有効に活用してもらうために、どんな連携の取り方が必要で、見えてきた課題をどう解決していくかが検討課題となっております。

また、放課後等デイサービスの質の担保とネットワーク作りを引き続きの課題としています。

ライフサポートファイル松戸版を活用した障害児支援連携システムの構築（案）

1. 目的

支援が必要な全ての子どもが、抜けなく、切れ目なく支援を受けられるようにするため、ライフサポートファイル（以下「LSF」とする）を活用した支援システムを構築する。

2. LSF を使うことの利点

【本人・家族】

- ・負担軽減（支援機関毎に同じことを何度も伝えている、散逸しがちな資料を一元化保存）
- ・子の成長や発達の経過確認
- ・不測の事態への対応（保護者に代わって子どもの情報を伝えることができる）

【支援者】

- ・情報の共有（これまでの支援の情報を保護者と支援者で共有できる）
- ・支援の連携（これまでの支援をこれからの支援に活かす、聞き取りや書類作成の軽減）
- ・支援へつなげる（就学時・就職時での LSF 確認で、支援がとぎれている家族にも支援につなげることができる）

3. LSF を活用した障害児連携システムの概要

- ・LSF の配付対象：障害者手帳所持者、障害福祉サービス受給者、各関係機関で相談歴のある家庭
- ・LSF の配付場所：公的機関未定
- ・LSF の内容：4 部構成（個人情報、松戸市の支援情報、支援の記録、付録）

4. 他市の状況

- ・千葉県内 33 市町村で LSF を導入済（54 市町村中、平成 27 年 1 月現在）

5. 課題

- ・支援機関をどこまで広げてどのように連携を図っていくか。
- ・支援機関の記載様式の統一を図れるのか。
- ・本当は支援が必要だが、手帳もなくサービスを利用していない児童への支援をどうしていくか。
- ・LSF を使ってみて保護者は利益を実感できるか。
- ・障害の疑いがある児童をどこの機関へ紹介するか。また、その紹介の仕方。